

第 1 4 回定時総会議案書

一般社団法人 東京都慢性期医療協会

2026 年 6 月 6 日

一般社団法人 東京都慢性期医療協会
第 1 4 回定時総会議案次第

第一号議案 2025 年度事業報告(案)

第二号議案 2025 年度決算報告(案)

第三号議案 2026 年度事業計画(案)

第四号議案 2026 年度予算(案)

そ の 他

第一号議案

2025年度事業報告(案)

I 会員数

1. 正会員数：74

2. 賛助会員数：25

II 事業実施報告

1. 理事会

(1) 構成員

顧問	天本 宏	社会医療法人河北医療財団	理事長相談役
	大塚 宣夫	医療法人社団 慶成会	会長
代表理事 会長	進藤 晃	大久野病院	理事長
理事	竹川 勝治	愛和病院	理事長（副会長）
	高野 研一郎	高野病院	院長（副会長）
	鳥巢 良一	小平中央リハビリテーション病院	院長
	熊谷 頼佳	京浜病院	院長
	田中 裕之	陵北病院	院長
	越永 守道	信愛病院	理事長
	玉城 成雄	城西病院	理事長
	八戸 敏史	多摩川病院	副院長
監事	村山 正道	大久野病院	法人運営本部
	遠藤 正樹	康明会病院	理事長

(2) 理事会の開催 計3回

2025年6月14日（土） WEB 開催

2026年1月31日（土） 東医健保会館

2026年3月21日（土） WEB 開催

2. 東京都慢性期医療学会の実施

第31回 東京都慢性期医療学会

日時：2026年1月31日（土） 9:45～16:00

場所：東医健保会館

参 加：174 名

学会長：信愛病院 理事長 越永守道氏

受賞講演：進藤晃会長 著書のデミング賞委員会による

2025 年度日経品質管理文献賞受賞

特別企画：パネルディスカッション「慢性期医療の課題・展望を語る」

ランチョンセミナー(共催 株式会社日本トリム)：

営業部課長 健康経営アドバイザー 松下 智英氏

演題発表：32 演題の発表

3. 都慢協レポートの発行

東京都慢性期医療協会が発行する機関紙

Vol. 032 (2025 年 9 月発行)

Vol. 033 (2025 年 12 月発行)

Vol. 034 (2026 年 3 月発行)

4. 看護部会活動総括

看護部会会長 永生病院 安藝佐香江

(1) 研修会

①第 1 回研修会

開催日時：2025 年 10 月 29 日 (水) 14:00～16:00

講師：城山病院 竹内看護部長 認知症認定看護師

場所：永生病院会議室

開催方法：対面、集合研修

タイトル：認知症患者さんと歩むケア～事例を通して考える関わり方～

参加人数：25 人

内容：事前に、認知症患者対応での困難事例などを各病院から募り、当日は事例についてグループディスカッションを行った。それぞれのグループが話し合った内容について発表。自分たちの対応方法が間違っていなかった、新たな対応方法が見いだせたなど前向きな意見も聞かれた。最後に竹内部長に、まとめをしていただき知識や対応方法の再確認を行うことが出来た。研修終了後も講師にと熱心に質問するスタッフもあり、多くのスタッフが悩みながら迷いながら認知症ケアを進めていることがわかった。

②第 2 回研修会

開催日時：2026 年 2 月 12 日 (木) 14:00～16:00

講師：・日本ペップトーク普及協会認定講師 小柳今日子先生

開催方法：対面、集合研修

タイトル：言葉の力 ペップトーク

参加人数：31 名

内容：この研修は、看護部会の研修として企画していたが多職種が参加できるように 4 部会合同の研修とした。

そのため 2025 年度看護部会としての研修は 1 回のみの開催となった。

（2）役員会

2025 年 5 月 2 日と 2026 年 3 月 17 日と 2 回の WEB 会議を行った。

○第 1 回 WEB 会議 2025 年 5 月 2 日 11:00～

①2024 年度の評価と 2025 年度の研修計画

- 1 回目は、10 月頃に事例からの認知症対応を学ぶ研修を竹内部長にお願いする。2 回目は 1 月～2 月頃コミュニケーション研修開催とする

○第 2 回 WEB 会議 2025 年 3 月 17 日 11:00～12:00

①2025 年度の評価について

- 認知症について、事例を用いてのグループディスカッション形式の研修は非常に有意義だった。日頃の振り返り、実践の確認、新たな対応方法を見いだせ、日ごろの対応方法について自信が持てた。

②2026 年度の研修計画について 年 2 回の予定

- 2025 年度行った「事例からの認知症対応を学ぶ」研修を竹内部長さんをお願いして再度開催する
- 診療報酬を鑑みて身体拘束最小化に関する研修を行いたい

③各病院の情報交換

（3）総括

看護部会会議年 2 回開催、研修会は年 2 回計画し、1 回目の認知症の事例から考える対応方法の研修は、日ごろのケアの振り返りと日ごろの悩みを解消する場として有意義であった。今後の患者・利用者への対応方法の道しるべとなり大変好評であった。認知症研修は、今後も継続していきたい。

2 回目は、コミュニケーション研修ペップトークを学ぶということで 4 部会合同研修として開催された。「ペップトーク」の研修は、アンケート結果も高評価であった。他病院や他職種の方が顔を合わせ、意見を交わせる研修は、今後とも開催のニーズが高いと感じている。

5. リハビリテーション部会活動総括

リハビリテーション部会会長 大久野病院 田島雅祥

(1) 講習会

①リハビリテーション介助技術講習会 ～基礎編～

日時：2025年6月15日（土）9:30～12:30

開催方法：座学（WEB 配信）、

実技（対面講習）社会福祉法人 高生会 明日に架ける橋

内容：座学は介護における自立支援の重要性や実践するためのポイントについて講義を行った。

実技は小グループに分け、寝返り、起き上がり、座位、立ち上がり、移乗動作の練習を行った。

講師（座学）：大久野病院 理学療法士 田島雅祥

（実技）：みなみ野病院 理学療法士 山下誠氏

及び当部会 PT・OT スタッフ

受講者：37名

②リハビリテーション介助技術講習会 ～食事介助編～

日時：2025年12月6日（土）9:00～12:40

場所：社会福祉法人 高生会 明日に架ける橋

内容：摂食嚥下の基礎知識についての講義を行ったのち、嚥下体操、口腔ケア、食事介助の実技練習を行った。

講師（講義）：大久野病院 言語聴覚士 高鳥俊介氏

（実技）：当部会 ST スタッフ

受講者：25名

(2) 総括

介助技術講習会の基礎編、食事介助編ともに、前年度より多くの参加者に参加いただくことができた。介助動作の実技は実際にやるだけでなく、やられる側を体験して気付くことも多く、参加者からは今までのやり方だと利用者を不快にさせてしまうなどといった声が上がリ、実技練習の重要性を再認識できた。また、介助をする上で、適切な声掛けがいかに重要であるかについても実技練習を通して伝えることができた。

参加者の経験年数として、10年以上の方が全体の15%前後となっており、学んだことを職場で共有したいとのことであった。次年度も新人教育のみならず、職場での教育にも活用していただけるよう、介助技術講習会を継続したいと考える。

6. MSW 部会活動総括

MSW 部会会長 陵北病院 佐藤政一

(1) MSW部会役員会議

2025年度は対面1回、その他メールやLINE等ツールでMSW部会役員会議を行い、MSW部会活動計画及び研修会打ち合わせを行った。

(2) MSW部会研修会

日時：2025年11月27日 18:30～20:00

場所：たましんRISURUホール（立川市民会館）第一会議室（5階）

内容：グループワーク

「入退院支援における各機関の状況とMSW/SWの役割」

「身寄りない方の支援」

「面会制限やその他確認したい事」

参加者：26名（17機関）

（慢性期・急性期・回復期MSW、地域連携室参加）

(3) 総括

2025年度の研修は慢性期、急性期、回復期、福祉施設等のMSW／SW、地域連携室についてワークショップを行った。医療・福祉連携会と合同にて、急性期・回復期、慢性期MSWが集まり対面でグループワークを行い、各々の所属機関における状況とMSWの役割を報告及び確認。また、その他の情報交換も行い、情報共有をすることが出来た。この情報共有は各々の所属機関の業務において、ご利用者、ご家族、地域、所属機関に還元出来ると考える。

研修会参加者より、このような研修会を継続してほしいと意見を多数頂き、今後も急性期、回復期、慢性期、福祉施設が参加し易い研修会を継続できるよう検討して行きたいと考える。

これからも引き続き、東京都慢性期医療協会、部会活動の説明及び協力を呼びかけ、協会・部会の連携を強化し、慢性期医療に貢献できるよう努めて行く。

7. マネジメント（事務）部会活動総括

マネジメント（事務）部会会長 大久野病院 村山正道

(1) 研修会

リハ部会との合同開催にて2025年7月11日（金）に、現地での参集及び後日WEB配信のハイブリッド形式にて研修会を行った。

現地参加者は10名、後日配信の視聴は6組であった。

研修会では、「診療（介護）報酬をめぐる情報共有と『介護保険における作業療法の算定』に関する事項について」をテーマとし、介護医療院における作業療法の算定、老健・介護医療院における室料負担の変更、回復期リハビリ病棟と疾患別リハビリテーションの対象疾患の違い、東京都の補助金・補

助事業、熱中症対策等について説明を行った。

また、介護給付費等審査委員会からの指摘事項や、レセプト摘要欄への記載方法、リハビリテーション加算の算定期間の考え方など、日常業務に直結する実務的な内容についても情報共有を行った。

(2) 総括

マネジメント（事務）部会は、医療・介護事業所における管理者及び、リハビリテーション部・看護部・MSW 以外の多職種を対象とした部会として活動している。しかも、リハビリテーション部会・看護部会・MSW 部会と連携した研修会なども企画、運営する部会である。本年度の研修会では、診療報酬・介護報酬に関する最新情報に加え、補助金制度や熱中症対策など、各事業所の運営管理に必要な情報共有を行うことができた。

また、介護保険請求やリハビリテーション算定に関する具体的な留意事項について説明を行ったことで、参加者にとって実務に活かせる有意義な研修会となった。

今後も、医療・介護を取り巻く制度改正や運営課題に対応できるよう、幅広い職種を対象とした情報共有及び研修機会の充実を図っていきたい。

以上

第二号議案

※※※※※※※※※※※※※※※※※※

決算報告書(案)

※※※※※※※※※※※※※※※※※※

第 14 期

自 令和 7 年 4 月 1 日

至 令和 8 年 3 月 3 1 日

一般社団法人 東京都慢性期医療協会

貸借対照表

令和8年3月31日現在

一般社団法人 東京都慢性期医療協会

一般会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	6,601,044	5,682,052	918,992
未収金	0	0	0
流動資産合計	6,601,044	5,682,052	918,992
資産合計	6,601,044	5,682,052	918,992
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	0	0	0
預り金	6,126	7,922	-1,796
流動負債合計	6,126	7,922	-1,796
負債合計	6,126	7,922	-1,796
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	6,594,918	5,674,130	920,788
正味財産合計	6,594,918	5,674,130	920,788
負債及び正味財産合計	6,601,044	5,682,052	918,992

正味財産増減計算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

一般社団法人 東京都慢性期医療協会

一般会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	2,605,000	2,674,000	-69,000
正会員受取会費	2,160,000	2,190,000	-30,000
賛助員受取会費	445,000	484,000	-39,000
事業号収益	462,500	501,000	-38,500
第3号事業金等	462,500	501,000	-38,500
受取補助金	170,000	170,000	0
日慢協助成金	170,000	170,000	0
雑収利益	143,288	134,901	8,387
受取利息	11,288	2,901	8,387
広告料収益	132,000	132,000	0
経常収益計	3,380,788	3,479,901	-99,113
(2) 経常費用			
事業費	1,840,100	2,121,119	-281,019
第1号事業費	0	0	0
調査研究費	0	0	0
第3号事業費	1,180,100	1,461,119	-281,019
研修会費	693,008	951,159	-258,151
看護部会費	23,637	163,414	-139,777
リハビリティ部会費	263,305	168,909	94,396
MSW部会費	44,090	88,819	-44,729
事務部会費	96,524	88,818	7,706
第4部合同部会費	59,536	0	59,536
第4部合同部会費	660,000	660,000	0
第4部合同部会費	660,000	660,000	0
第5号印刷費	0	0	0
第5号印刷費	0	0	0
管理費	549,900	492,460	57,440
雑費	549,900	492,460	57,440
経常費用計	2,390,000	2,613,579	-223,579
評価損益等調整前当期経常増減額	990,788	866,322	124,466
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	990,788	866,322	124,466
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
法人税等	70,000	70,000	0
経常外費用計	70,000	70,000	0
当期経常外増減額	-70,000	-70,000	0
当期一般正味財産増減額	920,788	796,322	124,466
一般正味財産期首残高	5,674,130	4,877,808	796,322
一般正味財産期末残高	6,594,918	5,674,130	920,788
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	6,594,918	5,674,130	920,788

収支計算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

一般社団法人 東京都慢性期医療協会
一般会計

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
会費収入	2,640,000	2,605,000	35,000
正会員会費収入	2,190,000	2,160,000	30,000
賛助会員会費収入	450,000	445,000	5,000
事業収入	500,000	462,500	37,500
第3号事業収入	500,000	462,500	37,500
補助金等収入	170,000	170,000	0
日慢協助成金収入	170,000	170,000	0
寄付金収入	100	0	100
雑収入	100	0	100
受取利息収入	135,000	143,288	-8,288
広告料収入	2,900	11,288	-8,388
雑収入	132,000	132,000	0
	100	0	100
事業活動収入計	3,445,100	3,380,788	64,312
2. 事業活動支出			
事業費支出	2,650,000	1,840,100	809,900
第1号事業費支出	50,000	0	50,000
調査研究費	50,000	0	50,000
第3号事業費支出	1,850,000	1,180,100	669,900
研修会費	970,000	693,008	276,992
看護部会費	200,000	23,637	176,363
リハビリ部会費	200,000	263,305	-63,305
MSW部会費	90,000	44,090	45,910
事務部会費	90,000	96,524	-6,524
第4号事業費支出	300,000	59,536	240,464
資料・印刷費	700,000	660,000	40,000
第5号事業費支出	700,000	660,000	40,000
協賛金支出	50,000	0	50,000
管理費支出	50,000	0	50,000
雑支出	725,100	549,900	175,200
その他の事業活動支出	725,100	549,900	175,200
法人税、住民税	70,000	70,000	0
	70,000	70,000	0
事業活動支出計	3,445,100	2,460,000	985,100
事業活動収支差額	0	920,788	-920,788
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出	5,674,130	0	5,674,130
当期収支差額	-5,674,130	920,788	-6,594,918
前期繰越収支差額	5,674,130	5,674,130	0
次期繰越収支差額	0	6,594,918	-6,594,918

財産目録

令和 8 年 3 月 3 1 日現在

一般社団法人 東京都慢性期医療協会

一般会計 (単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	現 金	手元有高		31,523
	預 金	普通預金	東和銀行 昭島支店	6,569,521
流動資産合計				6,601,044
資産合計				6,601,044
(流動負債)	預り金	源泉所得税等	令和 8 年 1 － 3 月分	6,126
流動負債合計				6,126
負債合計				6,126
正味財産				6,594,918

計算書類に対する注記

一般社団法人東京都慢性期医療協会

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却について

建物、建物付属設備及び構築物については定額法、その他の有形減価償却資産については定率法により減価償却を行う。

(2) 資金の範囲について

資金の範囲には、現金・預金、未収会費・未収金・未払金、前払金・前受金、立替金、仮払金及び預り金を含めることとする。
なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載する。

2. 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金・預金	5,682,052	6,601,044
未収金	0	0
仮払金	0	0
合 計	5,682,052	6,601,044
前受金	0	0
預り金	7,922	6,126
合 計	7,922	6,126
次期繰越収支差額	5,674,130	6,594,918

監 査 報 告 書

令和 8 年 4 月 30 日

一般社団法人 東京都慢性期医療協会

会長 進藤 晃 様

一般社団法人 東京都慢性期医療協会

監事 村 山 正 道
監事 遠 藤 正 樹

私たち監事は、令和8年 4 月 30 日に、令和7年4月1日から令和8年3月31日までの令和7年度における事業報告、計算書類、これらの附属明細書、その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

1 監査の方法及びその内容

監事間の協議により監査方針を定めた上で調査を行い、その結果を監事間で協議して、監査を実施しました。具体的には、理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧し、当法人の理事等から、職務の執行状況等について定期的に報告を受け、また、随時説明を求めました。

2 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。
- (2) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 当法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議の内容は相当であり、当該体制の運用状況につき指摘すべき事項はありません。
- (4) 計算書類とその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しています。

3 追記情報

なし

以上

第三号議案

2026年度事業計画（案）

1. 理事会の開催 年4回
2. 会員数
 - (1) 正会員数：73
退会：(1 法人) 日扇会第一病院
 - (2) 賛助会員数：26
入会：(1 法人) 株式会社日本トリム
3. 厚生労働省、日本慢性期医療協会、東京都ならびに東京都医師会、東京都病院協会との連携強化
4. 東京都慢性期医療学会の開催
第32回 東京都慢性期医療学会を2027年1月～2月に開催予定
5. 機関紙等の発行
都慢協レポートの発行年3回程度、及びそのネット公開
6. 会員向けに厚生行政からの情報をリアルタイムに FAX（ネット配信）通信
7. 看護部会活動計画
 - (1) 部会の開催：WEB 会議にて年2～3回程度を予定。
病院間の情報交換なども行う予定。
 - (2) 研修会の開催：2回を予定。2026年9～10月くらいに認知症対応研修。
あと1回は年明けに行う。あるいは、身体拘束最小化の取り組みについて年度早めに行う。
 - (3) その他：看護部会出席者以外の事業所の看護部にもお声がけして、研修参加等をお願いして行きたい。

8. リハビリテーション部会活動計画

(1) リハビリテーション介助技術講習会 ～基礎編～

日時：2026年6月13日（土） 9時半～12時半

場所：社会福祉法人 高生会 明日に架ける橋

内容：座学はWEB配信、当日は動作介助の基礎について実技練習を行う。

座学：自立支援に基づく介護

実技：①寝返り②起き上がり③座位④立ち上がり⑤移乗

講師：当部会 PT・OT スタッフ

(2) リハビリテーション介助技術講習会 ～摂食嚥下編～

日時：2026年10月～11月頃

場所：社会福祉法人 高生会 明日に架ける橋（予定）

内容：摂食嚥下、口腔ケア、食事介助の介助技術の講義と実技

講師：当部会 ST スタッフ

9. MSW部会活動計画

(1) 部会の開催（4回程度を予定。メールやLINE等のツールを含む）

(2) 研修会の開催（1回を予定） 日時、内容未定

(3) MSW部会体制及び連携強化（東京都慢性期医療協会・部会活動の説明及び協力の呼びかけ）

10. マネジメント（事務）部会活動計画

MSW部会との合同企画も視野に入れ、慢性期病院の運営にとって有用な企画を予定している。

11. 四部会合同講習会

年間で1回を予定。日時、内容に関しては今後4部会で検討。

以上

第四号議案

収支予算書(収支)

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

一般社団法人 東京都慢性期医療協会

一般会計

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
会費収入	2,640,000	2,640,000	0
正会員会費収入	2,190,000	2,190,000	0
賛助会員会費収入	450,000	450,000	0
事業収入	500,000	500,000	0
第3号事業	500,000	500,000	0
補助金等収入	170,000	170,000	0
日慢協助成金収入	170,000	170,000	0
寄付金収入	100	100	0
寄付金収入	100	100	0
雑収入	142,100	135,000	7,100
受取利息収入	10,000	2,900	7,100
広告料収入	132,000	132,000	0
雑収入	100	100	0
事業活動収入計	3,452,200	3,445,100	7,100
2. 事業活動支出			
事業費支出	2,680,000	2,650,000	30,000
第1号事業	50,000	50,000	0
調査研究費	50,000	50,000	0
第3号事業	1,880,000	1,850,000	30,000
研修会費	950,000	970,000	-20,000
看護部会	200,000	200,000	0
リハビリ部会	250,000	200,000	50,000
MSW部会	90,000	90,000	0
事務部会	90,000	90,000	0
四部門合同部会費	300,000	300,000	0
第4号事業	700,000	700,000	0
資料・印刷費	700,000	700,000	0
第5号事業	50,000	50,000	0
協賛金支出	50,000	50,000	0
管理費支出	702,200	725,100	-22,900
雑支出	702,200	725,100	-22,900
その他の事業活動支出	70,000	70,000	0
法人税、住民税	70,000	70,000	0
事業活動支出計	3,452,200	3,445,100	7,100
事業活動収支差額	0	0	0
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出	6,594,918	5,674,130	920,788
当期収支差額	-6,594,918	-5,674,130	-920,788
前期繰越収支差額	6,594,918	5,674,130	920,788
次期繰越収支差額	0	0	0